

- 2-3 全国会議から 社会的連帯経済とは「つながる」ことで循環するもう一つの経済
- 4 労働保険事務組合認可取得

第16回ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 埼玉

ウエスタ川越で
開催

「社会的連帯経済」を考えた全国会議

去る1月20日、21日、22日、3日間にわたり第16回ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 埼玉が開催されました。オンラインでの参加者も交え、900名近い参加がありました。15年ぶりに埼玉での開催でした。会場となった川越市の川合喜明市長から冒頭に挨拶がありました。



川越市川合市長



1日目 大ホールでの全体会開催

いのちと暮らしを守るあたたかな経済

基調講演は立教大学の藤井敦史さんの講演でした。市民の協同により事業を起こし、地域社会に目を向けた事業は、一つ一つは小さいけれど、その連携や連帯で豊かな地域社会づくりにつながると話されました。

埼玉から社会的連帯経済を！

パネルディスカッションでは、埼玉県内の連帯経済につながる事業や活動についての事例報告がありました。

一般社団法人コンパスナビの活動、埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会に所属する地域で様々なニーズに応える事業の紹介、そして生活クラブ生協の取り組み、最後に川越市の産業振興課での市民事業に対する支援など、今後行政が果たす役割が話されました。

それぞれに行う活動や事業が連携することで、地域のセーフティネットにつながり、社会的連帯経済のしくみづくりが可能になるとワーカーズ・コレクティブネットワークジャパンの代表藤井恵理さんが結びました。



分科会

2日目 分科会の様子

2日目は食、福祉など6つの分科会が開催され、ワーカーズ・コレクティブの事業の課題や今後取り組むべきテーマについて話し合われました。

懇親会

1日目の夜には華やかに懇親会が開催され、食事業に取り組むワーカーズのお料理を楽しみ、参加者同士の交流が深まりました。



ワーカーズの手作りのお料理で懇親会



三富新田での養蜂事業



丸木美術館見学の様子

オプションツアー

埼玉の名所とワーカーズ・コレクティブの事業所等4つのコースをめぐるりました。

市民団体との交流、ワーカーズ・コレクティブ同士の交流ができました。